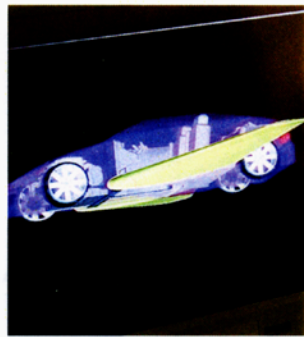


デューダ 【INSIDE OF COMPANY】 企業 訪問

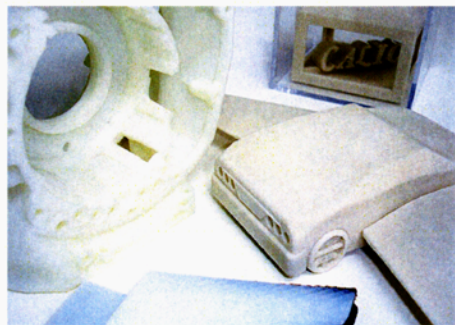


キャリオ技研株式会社
名古屋本社 / 名古屋市中村区亀島
2-6-16 大升ビル
☎(052)454-0495
資本金 / 1000万円
従業員数 / 40名

1997年創業以来、3次元デジタル技術に着目。3次元デジタルエンジニアリングや、技術系アウトソーシングを事業展開。独自開発した3次元CADイメージの金属造形、設計・教育現場への高速通信網の活用などの技術ビジネスエンジニアリングにも取り組んでいる。デジタル技術継承のツール開発など国や県との提携事業も多い。
<http://www.calio.co.jp>



<上段左>3次元CADによる試作例。
<上段右>社員向けの各種フォローアップ研修のほか、一般希望者を対象にした3次元CAD体験講座も実施している。
<下段左>代表取締役・富田茂さん。
<下段右>3次元CADデータそのままに樹脂や石膏を積層造形し、安価に試作品を実体化させる技術も持つ。



未経験者をプロの技術者に育成 3次元CAD専門のデジタルエンジニアリング企業 キャリオ技研株式会社

Check!

クオリティの高い 独自の社員教育制度

未経験から短期間で技術者を育成する社員教育のクオリティの高さでも、キャリオ技研は知られている。OJTを中心とした実践で実力を身につけていく育成法だが、ノウハウの蓄積された手順書により、より効率的で無駄のない育成を実現している。未経験だと通常3か月かかる基礎技術が、約2週間で身につくという。

またモチベーションアップのため社員の實力をはかる「3次元機械技術者検定」を社内で実施。さらに社員のアイデアを賞金や事業化で支援する「ワークデザイン制度」も行っている。



◆事業内容

創業以来、3次元デジタル技術に特化して事業展開してきたキャリオ技研。

3次元CADによって自動車部品や航空機部品などを設計開発する3次元デジタルエンジニアリング事業、3次元イメージを金属造形する独自技術や高速通信網を活用した協調設計・教育システムなどの技術ビジネスモデリング事業、さらに技術系アウトソーシング事業を3本柱として、日本の製造業の将来を見すえたビジネスを展開し、着実に実績を積み重ねている。

◆認知度アップに取り組む

「これからのモノづくりに不可欠となる3次元デジタルエンジニアリングの専門企業として認知度を高めていきたい」と話すのは同社の富田茂社長。

仕事の質を通して顧客の信頼を得る努力を重ねる一方で、この業種では珍しく一般消費者に向け、テレビCMを活用した告知活動にも取り組んでいる。

「一般消費者は直接の顧客ではありませんが、告知活動を通して企業ブランドを向上させ、中長期にわたる成長に活かされれば、と考えています」

◆求める人材像

キャリオ技研は高度な技術力を持つ集団だが、未経験からスタートした技術者が多いのが特徴。短期間で実践的な技術を身につけられる育成ノウハウを構築している同社だからこぼせる技だ。

「スキルや資質よりもまず重視しているのは、当人の『天職意識』。自分にはこれしかないんだ、という気持ちを持った人間は、とても強いですよ」と、富田社長は求める人材について話す。

◆今後の事業展開

先進性と技術への信用の高さから、岐阜県など公共機関との提携も多い同社。現在、公共事業体とのコラボレーションで、技術者が新技術を学ぶためのデジタルツールの実証実験（「デジタル技術継承」）を2006年3月まで実施中だ。

2007年問題を前に日本の技術力を維持するための取り組みだが、これは創業以来培ってきた社員教育の成果を応用したシステム。まさにキャリオだからこぼせる挑戦だと言えるだろう。

当初から「海外移転が進む中、将来、知的創造こそが日本の主軸になる」という信念をもつ富田社長のビジョンに、今ようやく時代が追いついてきている。